

2020(令和2)年1月30日

ご だ い り き そ ん に ん の う え
京都・醍醐寺 五大力尊仁王会をPR
2月7日(金)から京阪電車京橋駅に
もち あ ちからほうのう
「餅上げ力奉納」用と同サイズの大鏡餅が登場します

- 大阪で唯一の展示で、初日は約150kgの大鏡餅に触れることが可能
- 展示初日には大鏡餅をモチーフにしたイメージキャラクター「もちもちいん」が登場

京阪ホールディングス株式会社(本社：大阪市中央区、社長：石丸昌宏)では、毎年2月23日に京都・醍醐寺で行われる「五大力尊仁王会」で、無病息災・身体堅固を願う行事、「餅上げ力奉納」で使用されるものと同サイズの大鏡餅(男性用・重さ約150kg)を2月7日(金)から2月14日(金)までの間、京阪電車京橋駅構内に展示します。

大阪で大鏡餅の展示を行うのは当社が唯一で、これを通じて大阪方面のお客さまに「五大力さん」として親しまれる沿線行事をPRします。

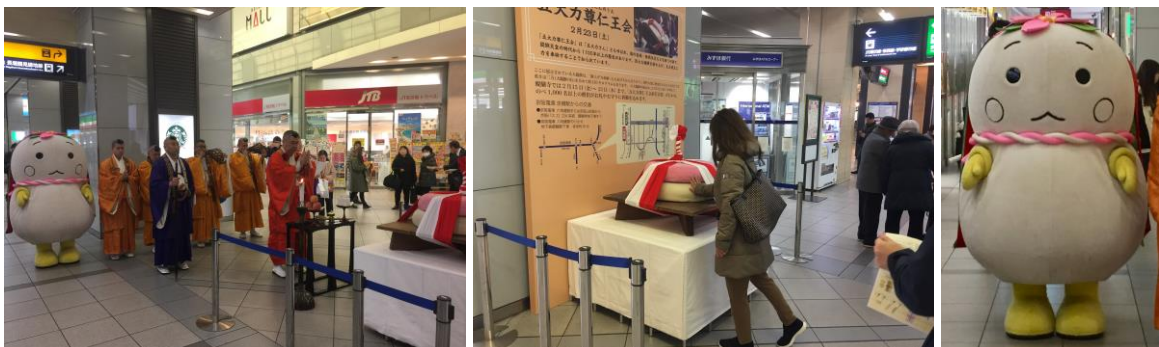
また、展示初日の2月7日(金)には醍醐寺から僧侶が出仕し、ほら貝の音を響かせながら人々の幸福を願い、大鏡餅に魂を込める「入魂式」が行われます。「入魂式」には「餅上げ力奉納」のPR役を務める、大鏡餅をモチーフとした醍醐地域のイメージキャラクター「もちもちいん」が登場。入魂後には大鏡餅に実際に触れていただける「展示餅体験企画」を実施します。

詳細は別紙のとおりです。

【五大力尊仁王会とは】

不動明王など五大明王の力を授かり、その化身・五大力菩薩によって国の平和や国民の幸福を願う行事で、毎年2月23日に京都・醍醐寺で開催され、親しみを込め「五大力さん」とも呼ばれています。その歴史は醍醐天皇の時代、西暦907年まで遡ることができます。

当日は、災難・盗難除けのお札「御影(みえい)」がその日限りで授与されます。近年では、力自慢の男女が巨大な鏡餅を持ち上げ、その時間を競う「餅上げ力奉納」も有名。男性は150kg、女性は90kg(それぞれ、大鏡餅の台である「三方」を含む)の大鏡餅を抱え、その力を奉納し、無病息災・身体堅固を祈ります。



▲昨年の様子(左：入魂式、右：展示餅体験企画)

▲もちもちいん

(別紙)

《大鏡餅展示イベントの概要》

【日 時】 2020年2月7日(金)～14日(金)

※入魂式は2月7日(金)午後1時から

※最終日の展示は午前11時まで

【場 所】 京阪電車 京橋駅構内(中央改札口付近・ホテル京阪 京橋 グランデ前)

【内 容】 京都・醍醐寺で行われる「五大力尊仁王会」の「餅上げ力奉納」で使用されるものと同サイズの大鏡餅(男性用・重さ約150kg)を、京阪電車京橋駅に展示します。また、展示初日には、醍醐寺の僧侶による入魂式を行います。 ※入魂式には「もちもちいん」も参加します。

＜大鏡餅の概要＞

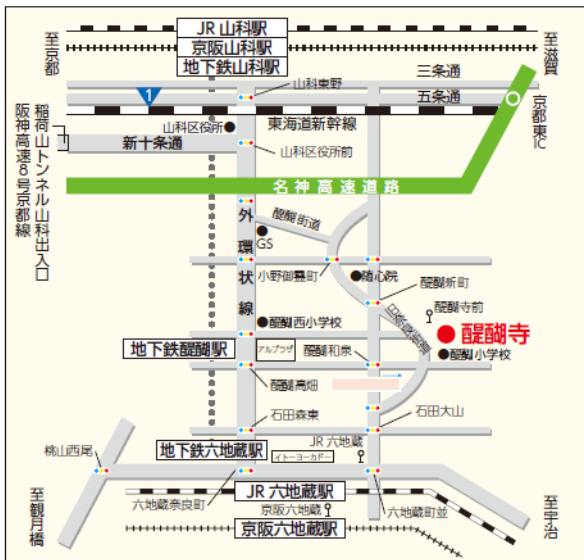
- ・重量：約150kg(三方を含む)
- ・上の餅：直径約50cm
- ・下の餅：直径約80cm

＜展示初日(2月7日(金))の催し＞

- ・入魂式 午後1時～
- ・展示餅体験企画 午後1時30分頃～3時30分

展示餅体験企画中は、囲い柵を設置せず、実際に大鏡餅に触れていただけます(通常は設置)。ただし、餅を移動させたり、台ごと持ち上げたりすることはできません。

《醍醐寺へのアクセス》



[京阪電車「六地藏駅」からのアクセス]

- ・京阪バスをご利用の場合
駅前の2番乗り場で22系統、22A系統に乗車し、バス停「醍醐寺前」にて下車(所要時間約15分)
- ・地下鉄乗り換え+徒歩の場合
京阪「六地藏駅」乗り換え、地下鉄東西線「醍醐駅」下車、徒歩約10分

[その他のアクセス]

- ・JR「京都駅」前から京阪バスでお越しの場合
京都駅八条口「ホテル京阪前」より「京都醍醐寺ライン(301系統)」に乗車し、バス停「醍醐寺」にて下車(所要時間約30分)
- ・JR「山科駅」前から京阪バスでお越しの場合
駅前の1番乗り場で22系統、22A系統に乗車し、バス停「醍醐寺前」にて下車(所要時間約20分)。または、2番乗り場から29A系統に乗車し、バス停「醍醐寺」にて下車(所要時間約30分)

※京阪バスでは、停留所への到着予測時刻や目的地までの到着予測時刻、バスの現在位置などリアルタイムな運行情報を、パソコンや携帯電話、スマートフォンから閲覧できる「京阪グループバスナビ」を導入しています。京阪バスにご乗車の際は、ぜひご利用ください(注. 臨時便には対応していません)。

<https://busnavi.keihanbus.jp/>

以上